

# 令和7年11月 地震・火山月報（防災編）

表 令和7年11月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第111～118号	3日、7日、10日、14日、17日、21日、24日、28日 16時00分	南岳山頂火口で噴火活動継続。16日以降は活発。爆発、噴火、大きな噴石の飛散、噴煙（16日の噴火で火口線上4400m）。火映、火山性地震、微動の発生状況。 火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1800～4500[t/日]（11/4, 11, 17, 25）で非常に多い。 GNSS観測で、姶良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線で地下深部の膨張を示す長期の緩やかな伸びがみられる。 姶良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられ、今後の火山情報に注意。
		降灰予報（速報）	16日 01:18, 02:44, 09:03, 17日 06:23, 19日 22:16, 27日 02:43	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報（詳細）	16日 01:26, 02:53, 03:22, 05:05, 09:13, 17日 06:35, 19日 22:30, 27日 02:53	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第101～105号	3日、10日、14日 16時00分 21日 16時10分 28日 16時00分	9月8日以降噴火はない。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は100[t/日]（1日）でやや少ない。火口直下の火山性地震は概ね多い。西側斜面の割れ目付近で、引き続き地熱域を確認（14日現地調査）。GNSS観測で霧島山を挟む一部の基線で、深部の膨張を示すわずかな伸びは7月上旬頃から停滞。 火山活動は活発。火口から概ね3kmの範囲で大きな噴石などに警戒。
雌阿寒岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第25～30号	3日、7日、10日、14日、21日、28日 16時00分	10月26日以降噴火はない。ポンマチネシリ96-1火口の噴煙量は引き続き多い。9月12日の火山性微動に伴い発生した火口方向が上がる傾斜変動は、その後も次第に緩やかになりつつ継続し、ポンマチネシリ火口浅部では膨張した状態。同火口付近の地震活動は概ね少ない状態。 火山活動は活発で噴火が発生する可能性があり、ポンマチネシリ火口から約500mの範囲で大きな噴石に警戒。
岩手山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第47～50号	7日、14日、21日、28日 16時00分	黒倉山付近の微小な火山性地震は8月上旬以降少ない。大地獄谷の噴気はやや高い日もあったが、地熱域及び地表面温度に大きな変化はない。傾斜計やひずみ計、GNSS観測で2024年2月頃からの山体深部の膨張を示す変動は緩やかに継続。 引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性がある。
草津白根山 (白根山(湯釜付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第84～95号	3日、5日、7日、10日、12日、14日、17日、19日、21日、24日、26日、28日 16時00分	火山性地震の日回数が数回で継続。20日の上空からの観測（陸上自衛隊協力）で湯釜付近の状況に特段の変化はない。傾斜計で昨年6月頃からの地下浅部の膨張を示す緩やかな変動は10月に入り鈍化。噴気の化学成分比に同年6月頃から活発化を示す変化が継続。全磁力連続観測で湯釜付近地下の温度上昇を示唆する変化が継続。火山活動が高まり湯釜火口から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性がある。

## 令和7年11月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第88~95号	3日、7日、10日、14日、17日、21日、24日、28日 16時00分	火山性地震は2024年4月中旬以降増加した状態だが今年7月頃から減少傾向がみられる。同3月中旬からの山体西側の膨張を示す傾斜変動は5月以降は停滞。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は80~400[t/日](11/10, 17, 18, 26)、2023年3月以前より多いが今年6月頃からやや減少している。20日の上空からの観測(陸上自衛隊協力)で火口内の高温部分が引き続きみられた。火口から概ね2kmに影響する噴火の可能性がある。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第44~48号	3日、10日、14日、21日、28日 16時00分	白色の噴煙と夜間に高感度カメラで火映を観測。火山性地震は少ない。長期的に熱活動や噴煙活動が高まった状態。火口周辺に影響する噴火の可能性あり。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第46~50号	3日、10日、14日、21日、28日 16時00分	御岳火口で噴火活動継続。噴火、爆発、噴煙、大きな噴石、火映の状況。集落(火口から南南西3.5km)で鳴動と降灰を確認(村役場出張所による)。火口付近浅部の火山性地震は少ない。島の西側の火山性地震は少ないが最大震度2を観測。中長期的には2024年10月頃から増加傾向が認められる。火山性微動は断続的に発生。GNSSでは2024年10月以降、島の西側やや深部でマグマ蓄積量増加を示すわずかな変動が認められる。ナベタオ(火口から南西約2.2km)の傾斜計で、6月下旬からマグマだまり方向が隆起する変動がみられる。長期に噴火活動が継続し御岳火口周辺で大きな噴石飛散の可能性がある。
				噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
				噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 雌阿寒岳、岩手山、草津白根山(白根山(湯釜付近))、浅間山、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。